

令和5年度 特別支援学校うぐいすの杜学園 校務分掌業務の実施状況

1 教務部

(1) 教務担当

①企画立案

○教育課程

- ・年間行事予定、月行事予定、日課表の立案及び調整  
年間授業日数 200日
- ・学校教育計画の立案及び評価

○主な行事等

実施日	行事名	備考
令和5年 4月10日(月)	1学期始業式・新任式	新任 3名
令和5年 7月21日(金)	1学期終業式	
令和5年 8月29日(火)	2学期始業式	
令和5年10月27日(金)	第3回うぐいす祭	
令和5年12月19日(火)	音楽を楽しむ会	文化芸術による子供育成推進事業 講師：小林真人氏 岩間龍山氏
令和5年12月22日(金)	2学期終業式	
令和6年 1月10日(水)	3学期始業式	
令和6年 3月 7日(木)	中学部第3回卒業証書授与式	中学部卒業生 4名
令和6年 3月18日(月)	小学部第3回卒業証書授与式	小学部卒業生 3名
令和6年 3月25日(月)	修了式・離任任式	離任 3名 退任 2名
○授業公開及び懇談		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学期1回(計3回) 子どものころサポートプラザ内職員が参観</li> <li>・公開期間 1、3学期 各2日間 2学期 1日(学園祭)</li> <li>・懇談 子ども心理治療センター担当者、児童相談所ケースワーカー、保護者が参加 ※2学期は、担当連絡会とし、児童相談所ケースワーカー、子ども心理治療センター担当者、担任、主事が参加し、学校から学習状況等を伝える場とする。</li> </ul>		

○担当委員会

- ・教育課程委員会・・・次年度の教育課程編成について検討(5回実施)
- ・規程検討委員会・・・内容について見直し、改訂版を作成(2回実施)
- ・修学旅行委員会・・・今年度及び次年度修学旅行について検討(5回実施)
- ・主事会・・・各学部の状況についての共有や学部間の調整等

②庶務

- 学校要覧作成・・・200部
- 成績・評価・・・成績及び修了認定会議(各学期末)
- 個別の教育支援計画・・・支援検討委員会で個々の支援について検討した。ケース会議等で、関係機関と支援について検討する際のツールとして活用した。
- 個別の指導計画・・・自立活動の個別の指導計画については、国立特別支援教育総合研究所病弱班から提案された「Co-MaMe」を活用した。

### ○諸帳簿の管理

名 称	保存期間	名 称	保存期間
学校沿革史	永年	指導要録(学籍)	20年
教務日誌	5年	指導要録(指導)	5年
日直日誌	5年	出席簿	5年
教職員名簿	5年	卒業生台帳	永年

○調査・統計・・・「学校基本調査」「特別支援学校在籍者に係る調査」「教育課程の実施状況調査」  
「授業実施状況に関する調査」 他

### ③実習等

○教育実習・介護等体験・・・令和5年度の受け入れは無し

## (2) 進路指導担当

### ①キャリア教育

- ・キャリア教育の充実～教科領域の学習において、キャリア教育計画をもとに指導を深める。
- ・キャリアパスポートの作成に取り組み、児童生徒が自分自身について考える機会としていく。

### ②進路指導

#### ○高等学校等、進路先の情報収集

進路先として考えられる高等学校等について、オープンスクールへの参加や担当者との連絡等を通して、具体的な資料を収集してまとめる。

#### ○甲府市中学校進路指導連絡協議会への参加

サマーテスト（8月）、校長会テスト（10月、1月）

#### ○進学先校との連携

- ・定期的に電話で様子を共有し、支援について連携を行った。
- ・進学先 中学部卒業生：県内私立高校、県内県立特別支援学校  
小学部卒業生：本校中学部、地域中学校

### ③中学部職場体験学習

#### ○職場体験学習（5月） 2日間

オギノ伊勢店での体験学習

#### ○職場体験学習の受け入れ先等に関する情報収集

## (3) 図書担当

### ①図書

#### ○教科書事務・・・令和5年度教科用図書受領確認 令和6年度教科用図書採択

転入学児童生徒用教科用図書採択 指導書購入及び管理 副教材の選定

#### ○図書・・・図書室蔵書 職員用図書の管理 寄贈図書の整理

#### ○教科用図書校内検討委員会・・・令和6年度教科用図書について選定

#### ○図書選定委員会・・・児童生徒用図書の選定

## (4) 研修・研究担当

### ①校内研究

#### ○研究主題

「児童生徒の社会性を育む支援について」～実態把握から見えてくる課題と支援の在り方を探る～

## ○研究目的

- ・理論研究や実践研究を通して、心のケアに必要な児童生徒の背景を含めた全体像を捉える力を高め、実践へ還元させる。
- ・各授業の実践研究を通して、児童生徒の心のケアに視点を置きながら、学ぶ楽しさを大切にした授業力の向上を図る。
- ・心のケアが必要な児童生徒が学校で学びにおいて、『安全や安心、所属感』を感じて豊かな学びの土台を形成するために、担任を中心としたチーム支援が機能することの有効性を明らかにする。
- ・地域の学校に通うための必要な社会性の獲得を目指し、その課題を挙げ、改善の支援や手立てについて整理をする。

## ○研究内容・方法及び経過

- ・グループ研究（学部ごと）で児童生徒に関する情報や支援の手立てを共有し、Co-MaMe を活用した実態把握と指導計画の作成、授業実践、評価、改善を行う。
- ・グループ研究により、活発な意見交換を図り、自己の実践を振り返るとともに他者の考え方を知ること知見を広げ、授業力の向上を目指していく。
- ・関東甲信越地区病弱虚弱教育研究連盟 心身症等 I 研究部会での取り組み（事例報告）

## ○実践研究・事例研究経過 年間10回

- ・全体研究 4回・・・本年度の研究の方向性、本年度の研究のまとめ及び次年度の方向性
- ・学部研究 6回・・・事例研究（児童生徒のアセスメント、課題と支援の整理 等）

## ○研修方法及び経過

- ・本校が主催する研修会や学習会を開催する。
- ・校外の関係各機関が主催する研修会や学習会へ参加し、情報を共有する。
- ・研修会やこれまでの校内研究から専門的な捉え方や支援方法を学び、実践に活かしていく。

<本校主催>

日付	内容	講師	場所
4月4日(火)	校内研修会 「関係機関との連携について」	本校教諭 伊波 美恵	本校
4月21日(金)	校内研修会 「自立活動について」	本校教諭 田住 真美	本校
5月16日(火)	校内研修会 「病弱教育について」	本校教諭 小尾 幸代	本校
8月28日(月)	校内研修会 「愛着形成とその障害～しなやかなところを育むために～」	子どものころサポートプラザ 所長 相原 正男 氏	本校
11月9日(木)	校内研修会 ・Co-MaMe を活用した児童生徒の実態把握の方法と活用について	国立特別支援教育総合研究所 主任研究員 土屋 忠之 氏	本校

## ②研究のまとめ

- ・研究のまとめについては、「令和5年度研究紀要」に掲載

## (5) 情報・ICT 教育担当

### ①情報・視聴覚機器の管理

○情報視聴覚機器の保守管理及びネットワーク管理

○学校ホームページによる情報発信

授業や行事の様子、学校としての取り組みについて情報発信を行う。

○情報教育

・デジタル教室

- ・全国学力・学習状況調査 中学校英語「話すこと」オンライン実施に向けた準備
- ・ICT教育推進研修会＜教員対象＞（11月）：一人1実践報告（県教育委員会指導主事招聘事業）

## ②教材教具の管理

- ・教材備品等の確認用台帳の作成
- ・学期末の確認整理の計画及び実施
- ・毎月の物品購入のとりまとめ

## （6）渉外交流担当

### ①交流及び共同学習

#### ○地域清掃～学校周辺及び山梨県子どものこころサポートプラザ内の清掃活動

- ・プラザ内の草とり 年間5回（6月、9月、10月、1月、2月）
- ・花いっぱい運動（チューリップの球根植え） 年間1回（11月）

#### ○作品交流～甲府伊勢四郵便局への作品展示

- 6月 小学部作品
- 8月 中学部写真部 作品
- 10月 小学部作品
- 12月 中学部作品

#### ○地域だより 年間3回発行（5月、7月、1月）

地域自治会を通じて各戸に配布

## 2 安全指導部

### （1）生徒指導担当

#### ①生活指導・いじめ防止対策

##### ○生活指導

- ・生徒指導上の課題への対応
- ・学校のやくそく（小学部）／学校生活のルール（中学部）の再検討及び指導

##### ○緊急時の対応

- ・保護対策の確認

##### ○いじめ防止対策

- ・いじめ防止基本方針の見直し
- ・いじめに関するアンケートの実施と対応策の検討（年3回実施）

#### ②第3回うぐいす祭の実施 10月28日（金）

##### ○目的

日頃の学習活動を発表することで「自分がこの学校で学んでいる」という所属感を味わえる機会にする。そしてみんなの発表を肯定的に観ることでお互いを認め合い、連帯感を育むきっかけにする。

##### ○内容

学習発表（模擬店形式 作品展示）

### （2）保健・給食担当

#### ①保健衛生

##### ○学習環境の整備

- ・水質検査（毎日 養護教諭が実施）

- ・換気及び保湿等検査（年間2回 学校薬剤師が実施）
- ・採光及び照明検査（年間2回 学校薬剤師が実施）
- ・騒音検査（年間2回 学校薬剤師が実施）
- ・感染症対策のための消毒（共用部分を中心に毎日 日直が実施）

## ②給食

### ○給食委員会の活動 学期1回

「おたのしみ給食」：児童、担任、栄養士で計画

### ○関係委員会

- ・学校給食委員会：給食に関する運営と指導についての企画及び立案 学期1回
- ・給食運営委員会への参加 毎月1回

## ③保健管理

### ○児童生徒に関すること

- ・健康診断（内科検診、眼科検診、歯科検診、耳鼻科検診、視力聴力検査）
- ・健康観察（毎日実施）
- ・精神科校医への相談～教員が児童生徒に関することを相談（年2回実施）

### ○緊急時対応

- ・救命救急法講習会（5月） 講師：甲府市消防本部救命救急指導員 3名
- ・緊急時シミュレーション訓練（7月）

### ○アレルギー疾患対応

アレルギー疾患対応委員会

### ○安全衛生委員会（2月） ※令和5年度は開催せず

職員の健康の保持増進、安全、衛生に関する事項の調査及び審議を行う。

参加者：校長、事務長、教頭、保健主事、養護教諭、衛生管理医、職場団体推薦者

### ○学校保健委員会（2月） ※令和5年度は開催せず

学校環境衛生の整備及び学校保健に関する調査などを行う。

参加者：校長、事務長、教頭、学部主事、保健主事、養護教諭、学校医（内科医）

## （3）環境防災担当

### ①環境整備

#### ○環境美化

職員清掃 毎週金曜日

### ②安全管理

#### ○安全点検

担当場所について項目に沿って点検（隔月で実施）

#### ○防災関係

- ・防災計画、危機管理マニュアルの作成・見直し
- ・避難訓練の実施
  - シェイクアウト訓練 年間3回（6月、11月、2月）
  - 引き渡し訓練 5月 想定：水害
    - ※災害が起こった場合、児童生徒は、子ども心理治療センターうぐいすの杜に引き渡す。その際の連絡の仕方、引き渡し方について実際にうぐいすの杜職員に協力いただいて実施した。
  - 避難訓練 年間2回（9月、11月） 想定：地震・火災
  - 防災研修（職員対象） 4月 災害時の対応、役割の確認
- ・非常食の管理

- ・「災害時等における山梨県立特別支援学校うぐいすの杜学園の一時避難所としての利用に関する協定書」(令和5年3月30日 甲府市と締結)

### 3 相談支援部

#### (1) 相談支援担当

##### ①センター的役割

- 教育相談(転入学相談及び学校見学を含む)・電話相談  
(のべ件数)

	保護者				幼保学校及び関係諸機関				
	幼児	小学生	中学生	高校生	幼保	小学校	中学校	高校	その他
教育相談	0	8	4	0	0	9	2	0	13
電話相談	0	8	7	0	0	2	4	0	3

- 授業体験

転入学予定児童生徒に対して転学日までの期間に実施(小学生4名、中学生2名)

- 追支援

転出児童生徒及び卒業生徒の支援(高校生2名、中学生8名、小学生2名)

- 訪問支援

センター的機能の発揮に係る指定地域の学校から依頼(小学校2校、中学校1校)

\*指定地域: 甲府市・笛吹市・甲州市・山梨市・甲斐市・中央市・昭和町

- 支援検討委員会

児童生徒の適切な実態把握を行い、個別の指導計画、個別の教育支援計画、児童自立支援計画(子ども心理治療センターうぐいすの杜作成)等について、教育方針や内容及び方法について協議や検討を行う。

##### ②関係団体・機関との連絡調整

- 市町村関係

要保護児童対策地域協議会個別ケース会議	2回
病院カンファレンス(入院児童生徒にかかわる)	2回
関係者会議	1回
山梨小児神経懇話会	研修支援実施

- 市町村教育委員会・学校関係

転入学児童生徒に係る当該教育委員会及び前籍校との連携	6校
転出児童生徒に係る当該教育委員会及び小中学校との連携	2市4校
富士吉田市教育協議会特別支援教育部会	研修支援実施
健康教育部会支援ブロック研修会	研修支援実施
身延町立身延小学校	研修支援実施
甲州市教育協議会特別支援教育研究会研修会	研修支援実施

- 総合教育センター・県教育委員会関係

病弱専門部特別支援連携会議 (全体会・心身症等部会・慢性疾患等部会・連携推進部会)	4回
特別支援教育コーディネーター会議・資質向上研修	10回
特別支援教育コーディネーター研修会議	2回
高等学校教育研究会教育相談部会	2回
新特別支援学級担当者研修会	1回

## ○プラザ内関係

子どものこころサポートプラザ連携推進会議	4回
子どものこころサポートプラザ連携チーム会議	5回
子どものこころサポートプラザ事業概要編集会議	3回
プラザ内機関連携帯同支援	1回
プラザ内学校説明会	3回
子ども心理治療センターうぐいすの杜への入所・通所検討会議	5回
申し送り（朝・昼）	平日毎日参加

## 4 学部担当

### ①授業計画・評価

準ずる教育課程で日課を作成している。一人ひとりの実態に合わせて個別の指導計画を作成し、評価規準や内容を設定して授業を行い、評価している。

### ②主な学部行事

#### ○いきいき教育地域人材活用推進事業

小学部：6月「腹話術の鑑賞」 講師 矢崎 育子 氏

中学部：7月「心身のリラクゼーション」 講師 土橋 恵 氏

全 校：1月「和太鼓及び篠笛鑑賞」 講師 守山 芳憲 氏

#### ○ヴァンフォーレ甲府サッカー教室（特別活動 体育的行事）

11月：小学部3校時 中学部4校時

#### ○学部集会

各学部学期2回（学期初め、学期末）：学期の振り返りやレクリエーションなどを行う。

#### ○小学部

・水泳指導 7月 4日（火）～9月15日（金） 簡易プールでの指導

・林間学校（5年） 10月13日（金） 大和自然学校

・修学旅行（6年） 11月10日（金） 身延山久遠寺、甲斐黄金村湯之奥金山博物館

#### ○中学部

・期末試験 学期末（年間3回）

・林間学校（1、2年） 9月29日（金） 愛宕山子どもの国、山梨県立科学館

・修学旅行（3年） 7月10日（月）～11日（火） 静岡方面

・部活動 月1～2回程度 「写真部」「日本文化部」「科学部」

### ③在籍児童生徒及び学級数（各月1日現在）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
小学部	在籍者	3	3	3	3	4	4	4	5	6	7	7	7
	学級数	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5
中学部	在籍者	6	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
	学級数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

・令和5年度最終在籍者数（学級数） 小学部8名（5学級）

中学部8名（3学級）

計16名（8学級）